

中山間地域の暮らしと定住を支える 「小さな拠点」の形成手法

～地域住民組織による生活基盤、地域交通、経済活動を支える
取組の事例紹介～

研究の背景・目的

中山間地域では、人口減少と高齢化が進み、これまで集落単位で維持できていた生活機能やサービスが弱くなり、これまで通り暮らし続けることが困難な状況も生まれつつあります。そこで、基幹集落を中心とした公民館区などの複数集落の範囲で「小さな拠点」を形成し、暮らしを支える生活機能を維持するとともに、定住を生み出す取組が全国で始まっています。中国地方知事会中山間地域振興部会では、「小さな拠点の形成手法」について調査研究を進めています。

研究方法

- ・ H24～26年度共同研究成果から、人口減少地域での生活機能の低下傾向や組合せによる機能維持の必要性を確認。
- ・ 地勢、人口規模、形成進度の異なる調査対象地区を16地区選定し、聞き取り調査で状況や対策を確認。
- ・ 地区の特徴と課題を把握し、「小さな拠点」に必要な基本機能とその組み合わせ、形成ステップについて、フィールド調査・地区住民との意見交換や関係者による検討研究会の中で、明らかにしていく。

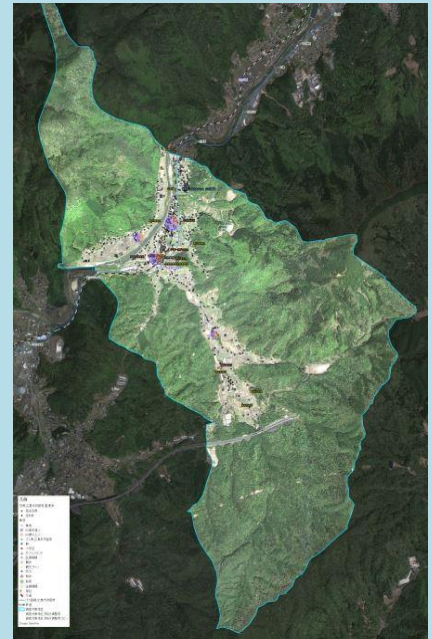
研究状況

①調査対象地区の基本データを収集し、人口維持に必要な定住組数を提示するとともに、集落や生活機能拠点の分布状況、地域交通の運行状況について航空写真上にプロット。地区の組織体制や関係組織との連携状況及び補助金等資金の流れを整理することで地域運営のポテンシャルを把握しています。

また、調査地区住民に対するヒアリング調査・意見交換により、今後の状況や組合せによる機能維持の必要性を確認しています。

②地区の課題解決を図るための「小さな拠点」に必要な機能を住民が共有しやすい話し合い手法を座談会実施の中で探っています。

③関係者で構成する検討研究会を開催し、調査結果も踏まえながら、小さな拠点に必要な機能の組み合わせや形成ステップを整理しています。



研究成果の活用・今後の研究計画

- ①「小さな拠点」形成に取り組む地区やそれを支援する行政や団体が、運営体制を整えつつ、備えるべき機能を組み合わせながら、実現に向けて円滑に活動できるよう、ポイントを整理し提示していきます。
- ②中国地方をはじめ、全国で小さな拠点整備を推進していくために必要な、制度の改正や必要な施策の提案を整理していきます。

担当科 : 地域研究スタッフ

研究担当者 : 藤山、有田、川上、安部、佐藤、東

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

問い合わせ先 : 0854-76-3833 (直通)

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp (代表)

試験研究課題名 : 【5県共同研究】中山間地域の定住と循環を支える拠点の形成手法 (研究期間 : H28)

